



竹内 昌治

生研の若手・中堅教員と最新バイオ・マイクロ・ナノテク事情を考える

バイオ・マイクロ・ナノテク研究会

RC-52

1. 代表幹事

竹内昌治 (東京大学 生産技術研究所 准教授)

幹事

酒井康行 (東京大学 生産技術研究所 教授)

藤井輝夫 (東京大学 生産技術研究所 教授)

大島まり (東京大学 生産技術研究所 教授)

立間 徹 (東京大学 生産技術研究所 教授)

金 範俊 (東京大学 生産技術研究所 准教授)

白樺 了 (東京大学 生産技術研究所 准教授)

連絡先

竹内昌治

Tel : 03-5452-6650

Fax : 03-5452-6649

e-mail : takeuchi@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

昨今騒がれているナノバイオとはいったい何か。マイクロ流体デバイスを用いるとなぜ高速、高感度な検出ができるのか。今、マイクロ・ナノの世界でバイオ・化学技術が激変している。

本研究会では、生産技術研究所でこの分野の最新研究に携わる教員らが周辺分野の研究者・企業関係者を招き、医療、創薬、IT、環境、安心・安全などへの発展性を議論する。また、関連分野の最新の学会やジャーナルの報告を行なう。さらに、希望者を集めてこの分野の基礎技術（マイクロ流路作成、生体分子計測、マイクロファブリケーション等）を学ぶ実習も計画している。また、一部を「RC-11：マイクロマシン技術の応用を探る研究会」と合同で行う。

キーワード：マイクロ流体デバイス、人工臓器、神経インターフェース、創薬スクリーニング、ヘルスケア、コスメトロジー、再生医療、生体保存、システムバイオ、遺伝子治療、超高感度バイオ・環境センサ、バイオセンサーネットワーク、分子通信、ナノ材料、バイオハイブリッド、分子機械・ナノマシン、自己組織化、バイオミメティクス、生体分子モータ、生体数値シュミレーション、膜タンパク質など

関連技術：マイクロ・ナノファブリケーション、細胞培養、タンパク質精製、遺伝子操作、一分子観察、非接触観察、生体信号計測、電気化学計測、免疫検査、数値計算等

関連学会：microTAS、MEMS、Transducers、IEEE EMBS、生物物理学会、電気学会、化学とマイクロ・ナノシステム研究会

3. その他

期 間：平成23年4月～平成24年3月

参 加 費：賛助員の場合（賛助会費一口10万円）：参加費20万円

非賛助員の場合：参加費30万円

（上記以外の参加形態もございますので、詳細はお問い合わせ下さい。）

定 員：最小3社、最大15社

運 営 方 法：年4回程度の研究会を開催する。

●国内外の関連分野の研究者・企業関係者からの講演ならびに意見交換を行なう。

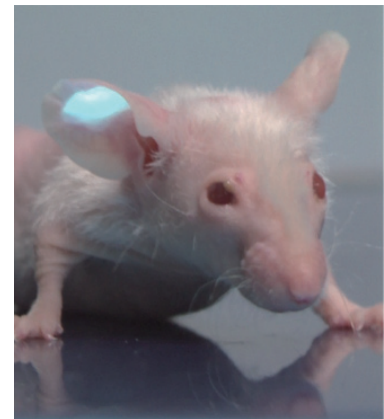
●国内外の会議への参加報告を中心として、最新の技術動向を知る。



細胞をビーズ状に加工し
3次元の鋳型で高速に
モールドされた細胞組織構造



膜タンパク質を特異的に
発現させた匂いセンサを
もつロボット



血糖値に応答して光の輝度を
変化させるマイクロビーズが
耳に埋め込まれたマウス

特別研究会申込方法

下記連絡先まで郵送、FAXまたは電子メールでお申し込みください。

連絡先：〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内 Dw405

(財)生産技術研究奨励会 特別研究会係

TEL：03 (5452) 6095 FAX：03 (5452) 6096

e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp

●ホームページアドレス：<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/>

平成23年度 特別研究会申込書

申込日：平成____年____月____日

[新規・継続] いずれかに○をつけてください

(1) 特別研究会No. : RC- _____

(2) 貴社名 : _____

(3) 参加者 (参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出願います。)

(フリガナ)
■氏名 : _____

■所属 : _____

■役職 : _____

■勤務先所在地 : 〒 _____

■電話番号 : _____ ■Fax : _____

■E-mailアドレス : _____

(4) 事務担当連絡先 (上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。)

(フリガナ)
■氏名 : _____

■所属 : _____

■役職 : _____

■勤務先所在地 : 〒 _____

■電話番号 : _____ ■Fax : _____

■E-mailアドレス : _____

(5) その他 (ご希望や新しい特別研究会のご提案も歓迎いたします。別紙でも可)

(財) 生産技術研究奨励会賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。

2. 既に賛助員であるが、増口する。 _____ □(一口につき年会費10万円)

3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。 _____ □(一口につき年会費10万円)

4. 賛助員申込を行わない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。